【科目名】園芸療法のための医療・医学		
【期 別】 前期 (4~8月)	【区 分】 必修	【種 別】 講義
【単位・コマ数】 2単位15コマ	【時間数】 22.5	
【主任教員】 ○平野[竹村]文男 (7)		○は成績評価者
【分担教員】 柿木 達也 (3) 加藤 順一 (2) 木下 彩栄 (3)		
【授業のねらい】 園芸療法を行うにあたりクライアントの病理と治療を理解する。 園芸療法と関係が深い脳科学について理解する。		
【担当教員】	【授業予定】	
平野 文男 6/18 (土) 1-2限 7/2 (土) 1-5限	① 医療・医学概説 (1コマ) 医療従事者の倫理観、医療がどのように変わってきているか、医療に関する法律、保健制度などについて解説します。 ② 身体病理・薬理 (6コマ) 園芸療法の対象となる人の疾患の病理と薬理について解説します。具体的には、脳血管疾患、虚血性心疾患、骨粗鬆症、糖尿病、悪性腫瘍などです。また、植物・昆虫との接触時に起こる可能性のあるアナフィラキシー、接触性皮膚炎なども取り上げます。	
木下 彩栄 6/18 (土) 3-5限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大脳の構造と機能 ・ 脳幹の構造と機能 ・ 小脳の構造と機能 ・ 脊髄の構造と機能などを、症状や疾患とからめながら概説する 	
柿木 達也 7/16 (土) 3-5限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の認知症施策を理解する ・ 認知症の現状と今後の状況、認知症観の転換 ・ 認知症の概念の変遷と理解 ・ 認知症と高次脳機能障害 ・ 認知症の原因疾患別理解と支援 ・ 予防の考え方と予防の文献的考察など ・ MCIから認知症へのコンバートの問題 ・ 認知症の診断と治療と進行抑制の考え方 ・ BPSDの理解と対応 ・ 認知症は「不幸」ではなく「不便」、不便の支援「そっと・やさしく・さりげなく」 	
加藤 順一 7/16 (土) 1-2限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年医学総論 (1) 老年者の身体生理と病理 ・ 老年医学各論 (2) 老年者の疾患とその特徴 疾患治療と薬理 リスク管理について 高齢者の食と栄養 実習：介護と嚥下について 	
【購入図書】		
平野 文男：	「カラーで学べる病理学 第4版」(渡辺照男、ヌーヴェルヒロカワ、2014年、2,700円) ※教科書は、講義で使用します。	
【予習課題】		
平野 文男：	講義一週間前に、配布する。 ハンドアウトのカッコ内をテキストを見て記入しそのハンドアウトを読んでおいてください。	
木下 彩栄：	脳の解剖学的構造について理解しておいてください。	
柿木 達也：	4つの代表的認知症について一応自分なりに考えを整理しておく 1. アルツハイマー型 2. 血管性 3. レビー小体型 4. 前頭側頭型	
加藤 順一：	加齢と身体機能について	

【参考図書】	
平野 文男：	<ul style="list-style-type: none"> ・「生命倫理と医療倫理 改訂2版」(伏木信次ら編、金芳堂、2008年、2,625円) ・「わかりやすい公衆衛生学 第3版」 (清水忠彦、佐藤拓代編集、ヌーヴェルヒロカワ、2009年、2,310円) ・「イラストでまなぶ人体のしくみとはたらき」(田中越郎、医学書院、2006年、3,150円) ・「イラストでまなぶ解剖学 第2版」(松村譲児、医学書院、2009年、2,730円) ・「イラストでまなぶ生理学 第2版」(田中越郎、医学書院、2009年、3,150円)
木下 彩栄：	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぜんぶわかる脳の事典」(成美堂出版)
【成績評価の方法】	
平野 文男：	出席、予習課題、レポートなど総合的に評価します。
【受講生への希望】	
平野 文男：	<p>講義は、6月18日(SAT.)及び7月2日(SAT.)に、行う予定ですが、1日ごとに<希望・感想>及び<質問>を私あてにe-mailにて次のaddressまでお送りください。 [hgd77801@hcc6.bai.ne.jp]</p> <p>可能な限り、皆さんのご希望を講義に反映していきたいと思っております。皆さんからのご質問は、情報の共有化という観点から、受講者全員にお答えをe-mailで、お送りするようにします。私の講義に対するポリシーは、“明るく、楽しく、全員参加の講義”です。興味のあるもの、好きなものに対して、人間は信じられないほどの力を発揮できると思っております。また、明るく、楽しいものほど興味をひかれ、好きになるように思います。がんばって参りましょう。皆さんと、講義でお会い出来ることを楽しみにしております</p>
柿木 達也：	<p>次のことをねらいに授業を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正しい認知症観をもつ 2. 4つの代表的認知症の特徴を理解することとおして認知症のイメージができる 3. それぞれの認知症の生活上の困難をイメージできるようになる 「もし自分が認知症になったらこんなことで困るだろうからこんな支援をしてほしい」といったイメージができる 4. 認知機能障害・生活障害・BPSD・身体機能の4つの側面から認知症を理解できる 5. 具体的な治療と支援の方法について知る 6. 現在の認知症施策を理解し認知症対策の枠組みを知り自分のできることを考えることができる
加藤 順一：	講義の中で各人の体験経験を振り返り、実習もとりにいれることで再認識することが、社会人として成長できるよう講義します。
木下 彩栄：	脳の不思議さに関する一般書などを読み、脳に興味を持ってください。ラマチャンドラン「脳の中の幽霊」(角川文庫)などはお勧めです。